



「助っ人」駆ける

411府知事選

①

春の鴨川沿いを蛍光色や赤色のランニングシューズが、軽快なリズムで駆け抜けた。知事選序盤の休日。握手を求められた青空宴会の若者もベンチに腰掛けた家族も、「えっ、候補者なの」。

シューズの重さは200〜250g。スニーカーの半分程度の軽さで、「初めて履く人は天にも駆け昇れ

足どり軽やか、公約PR

る気分になる」とか。

それもそのはずで、5キロの道中、笑顔を絶やさず有権者を探して右へ左へ。刻む足音もどこか心地よい。

つい足元にまで視線がいつてしまう派手なシューズ。これで跳ねれば、勝利をつかめた気分にもなれる？。

（中塩路良平）

◆ 選挙で使われるのは「七つ道具」だけでなく、さまざまな小道具もお目見えする。京都府知事選で登場した「助っ人」を拝見した。

|| 5回掲載の予定です